



あなたがお持ちの空家、お住まいの家の 空き部屋を福祉や地域に活かしませんか！

空家を地域の「宝」にする仕組み 社会貢献型空家バンク

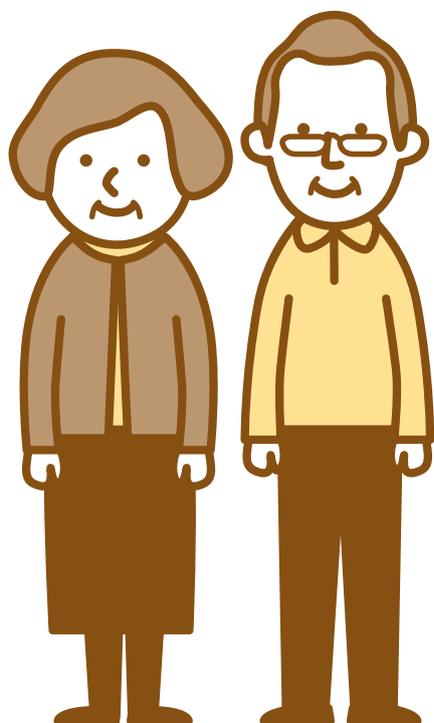
地域福祉

子ども支援

高齢者支援

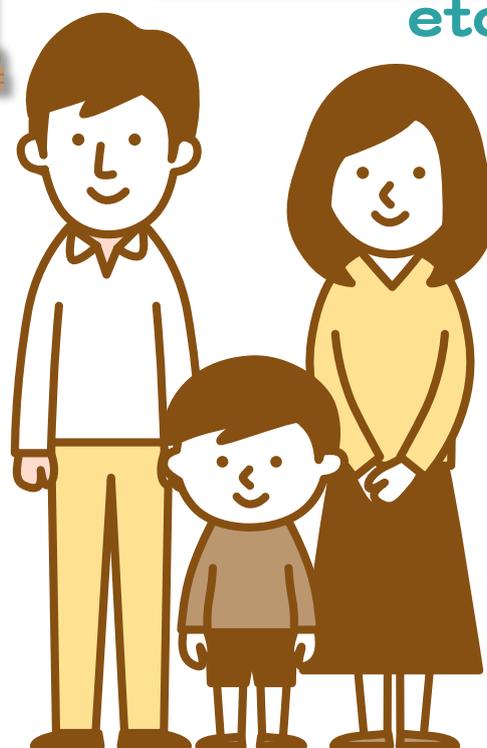
障がい者支援

etc.



古家空家の持ち主

「親から相続した家」「広すぎる一軒家」
「家族が自立して空いた部屋」などを
地域福祉や社会貢献に活かしたい。



福祉団体・地域団体

オーナー様の想いと物件を福祉事業や
地域活動に活かし、地域の活性化と
福祉のまちづくりをしたい。

福岡市社会福祉協議会と古家空家調査連絡会は、地域の空家を地域で役立てるため協働で「社会貢献型空家バンク」を運営し、ワンストップの相談窓口を設けています。地域の方々の「暮らしやすさの実現」と、「誰もが孤立することなく社会の一員として認められる懐の深いまちづくり」、「つながりの場としての地域づくり」を目指しています。



福岡市社会福祉協議会と古家空家調査連絡会では、弁護士、司法書士、税理士、建築士、宅建士などの専門家のサポートにより、ワンストップで空家の福祉活用を実現します。また、誰もが安心して地域で暮らし続けるための相談や終活に関する相談に対応し、様々な情報提供やアドバイスを行っています。



空家活用をサポートするワンストップの専門家相談ネットワーク



空家活用の実例

地域の皆様からの空家のご提供により、福岡市の各地で福祉拠点が誕生しています。

■ なかしまホーム



平成 17 年、福岡市東区社会福祉協議会に「福祉に役立てて欲しい」との遺言により寄附された建物。築 48 年木造二階建ての一軒家を障がい者のシェアハウスとして改築しました。

利用者や近隣住民が共同で実施した漆喰塗りの白壁が目に映える、居心地の良い空間となっています。



■ 岩田商店



福岡市東区にある住居兼個人商店。空いている部屋を社会貢献型で活用できないかとの相談から、商店を営み 1 階に居住する 80 代の高齢者と、シェアする形でフリースクールの運営が始まりました。商店の中から響き始めた子ども達の笑い声に、オーナー様は昔日の賑いを思い起こしています。



■ 利生院



福岡市早良区にある、元文 3 年 (1739 年) 建立の天台宗のお堂。建物が地域で果たしてきた役目と堂守さんの「地域の福祉に役立てたい」という遺志を尊重し、趣のある古民家母屋を改築し、障がい福祉サービスの運営を中心とした、福祉と地域活動の拠点として再出発。

利用者の皆さまからは、「とても落ち着いた場所」と大評判です。



お問い合わせ

◎社会福祉法人福岡市社会福祉協議会 地域福祉課 事業開発係

〒810-0062 福岡市中央区荒戸 3 丁目 3-39 TEL: 092-720-5356 FAX: 092-751-1509  akiya@fukuoka-shakyo.or.jp

◎一般社団法人古家空家調査連絡会

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 2-4-20 パール福岡 902 TEL:092-406-6501 FAX:092-406-6517  info@akiya.help



社会貢献型空家バンクホームページ <https://akiyadefukushi.com/>

社会貢献型空家バンク

